

令和5年度事業報告について

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、「ウイズ・コロナ」として、コロナウイルスとの共存が必要な年となりました。

また、企業に義務付けられた「65歳までの雇用の確保」が本格化、定年延長の時代に入り、新入会員の獲得がいよいよ難しくなってきました。

事業においては民間・一般家庭関係事務費の増額改定を行ったものの、コロナによる企業活動の縮小が完全には回復していないこと、日本を取り巻くさまざまな要因による消費者物価の上昇などが当センターの経営を圧迫し、何とか収支相償は保てましたが厳しい環境は変わりありません。

当センターは「第1次中長期計画」に基づき、就業機会の確保、会員の拡大を図ってまいりましたが、中々目標には届いていないのが現状です。

社会では日経平均株価が過去最高値を更新し、賃金上昇も過去最高を記録するなど、明るい兆しも伺えますので、時流に乗り遅れることの無いよう、引き続き運営に努めてまいります。

当センターの契約状況を前年度と対比してみますと、次のようになっています。

令和4年度	受託事業収益	延 50,390 人 297,340,464 円
	派遣事業契約金額	延 6,286 人 36,941,766 円
	職業紹介事業受託収益	0 人 0 円
	介護保険事業収益(新総合事業を含む)	11,214,808 円
	令和5年度	受託事業収益
	派遣事業契約金額	延 5,992 人 36,463,972 円
	職業紹介事業受託収益	0 人 0 円
	介護保険事業収益(新総合事業を含む)	8,586,130 円

前記のとおり、受託事業収益では、受取事務費を 10%から 12%への改定及び配分金単価の改定など行った結果、2.8%の増収となりました。派遣事業契約金額は、微減となりました。新総合事業は昨年並みの事業収益でしたが、介護保険事業では減収となりました。職業紹介事業受託収益は、紹介事業の受注がありませんでした。今後も、就業開拓等に努め事業収益の増額を図りたいと思います。

令和 5 年度実施の重点項目の概要は、次のとおりです。

1 就業機会の確保

新たに就業機会を提供していただいた企業があり、会員も就業しましたが、企業のニーズに答えられないところもあり、就業拡大には至りませんでした。今後もミスマッチの状況を解消するとともに就業機会の確保に鋭意努力いたしますので、会員の皆さんにも引き続き「一人一仕事開拓運動」にご協力をお願いいたします。

2 就業相談の実施

就業情報の提供については、事務所の広報板、ホームページ、携帯ショートメッセージ等で提供するとともに、月 2 回の就業相談日を設けて、会員の皆さんからの相談内容にきめ細かく対応してまいりました。また、スマイル・トゥ・スマイルを供用開始し、包括契約への対応を始めるとともに、デジタル化・ペーパーレス化を図りました。今後も丁寧な相談体制を目指します。

3 各種講習会等の開催

新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行しましたが、まだまだ終息が見通せない中、講習会実施はコロナ前に戻せました。今後は参加者数の回復を図ります。

(1) 剪定技能講習会	3 日	延 36 人
(2) 草刈技能講習会	1 日	21 人
(3) チェンソー技能講習会	1 日	13 人
(4) 派遣研修会	1 日	3 人
(5) 安全運転講習会	1 日	24 人

(6)スマホ講座	1日	10人
(7)安全就業講習会	1日	47人

4 安全・適正就業の実施

昨年度毎週安全パトロールを実施した成果で重篤災害や一般災害件数は目標を達成したので、今年度はパトロールを隔週としました。

しかし、残念ながら、一般災害件数、休業日数、物損事故件数ともに安全目標を達成ができませんでした。

今一度『安全は全てに優先する』との理念のもと安全確保にご協力をお願いいたします。

又、適正就業については、臨・短・軽がシルバーの就業の基本であることから発注者に理解をお願いするとともに、会員の皆さんにワークシェアやローテーション就業への協力を引き続きお願いいたします。

なお、安全目標とその結果は、次のとおりとなりました。

令和5年度安全目標	結果
(1)重篤災害件数0件	0件
(2)一般災害件数5件以内	8件
(3)休業日数120日以内	144日
(4)物損事故件数5件以内	11件
(草刈り作業中の飛び石事故0件)	(5件)

5 会員拡大

今年度の新入会員は、男性会員40名、女性会員22名の計62名で、退会会員は、男性会員は47名、女性会員26名の計73名で、11名の減員となりました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止などにより、新入会員説明会への参加が少なかったことなどが影響しました。今後も引き続き会員の拡大と退会会員の減少に努めて参りますので、会員の皆さんにも「一人一会員入会運動」にご協力をお願いいたします。

6 介護保険事業・新総合事業の継続

介護保険事業では、利用者数が昨年より2人増えたものの、利用者が入院などにより提供サービスが減り、それに伴い事業収益も減収となりました。

新総合事業では、利用者数が昨年より1名減ったものの、利用者の要支援度が上がったため事業高は昨年並みでした。

本年度はヘルパー会員2名の入会と1名の退会がありましたが、ヘルパー会員の高齢化が顕著であり、補充に努めていかなければと思っております。

7 労働者派遣事業(シルバー派遣事業)並びに有料職業紹介事業の継続

シルバー派遣事業は、派遣先が9事業所と変更がないものの、就業延べ人員が減ったことにより契約金額が減となりました。今後も必要に応じ、引き続き請負・委任から派遣に切り替えていただくよう発注者のご理解を得るよう努めてまいります。また、有料職業紹介事業は、残念ながら今年度についても需要がありませんでしたが、今後も実施事業所として継続実施してまいります。

8 中長期計画の推進

定年制延長、新型コロナウイルス感染症拡大、世界的なインフレなどシルバーを取り巻く環境は大変厳しい状況であります。

中期計画の数値目標の達成状況は大変厳しい結果となっておりますが、今後も引き続き中長期計画推進委員会で種々検証を行い当センターの安定的な事業運営に資したいと考えておりますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。